

令和2年度青少年のネット利用実態調査結果(概要)

1 調査の概要

調査対象：県内の小学校、中学校、高等学校の児童生徒約1,500人とその保護者、計約3,000人

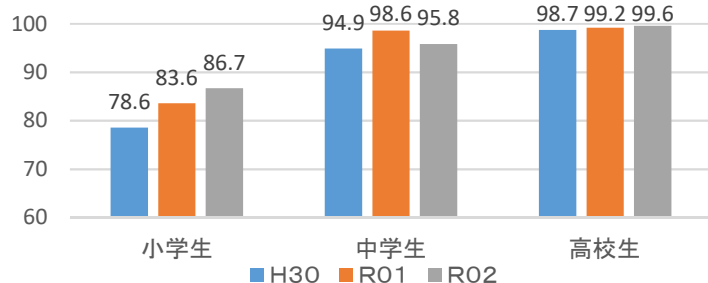
調査方法：対象者に合わせて、質問項目や内容、表現を調整して調査票(小学生・中高校生・保護者の3種類)を作成し、紙面による調査を行った。

調査時期：令和2年9月

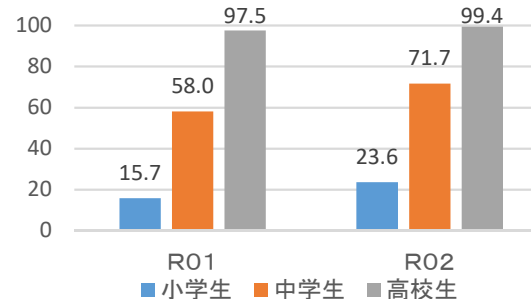
調査内容：①インターネットを利用する機器、内容、環境 ②インターネット利用による生活の変化 ③インターネット利用時のトラブル等と相談
④フィルタリングの利用状況と家庭のルール ⑤保護者自身のインターネット利用に関すること

2 インターネット利用の低年齢化

【青少年のインターネット利用率(子ども回答)】



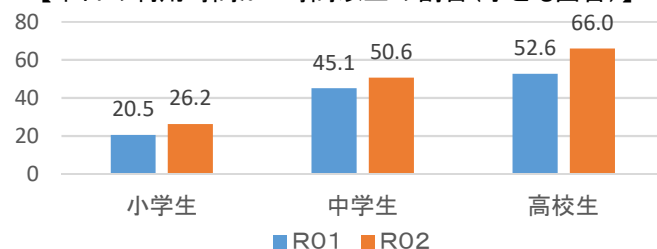
【スマートフォン(自分専用)の所持率(子ども回答)】



- ・小学生の9割近く、中学生の9割以上、高校生のほぼ全員がインターネットを利用している。
- ・小学生では、インターネット利用率が年々増加しており、本県においても全国調査の結果と同様に、ネット利用の低年齢化が進んでいる。
- ・前年度と比較して、自分専用のスマートフォン所持率が増加しており、高校生では、ほぼ全員が所持している。

3 インターネット利用の長時間化

【平日の利用時間が2時間以上の割合(子ども回答)】



- ・前年度と比較して、平日に2時間以上インターネットを利用する子どもが増加しており、利用時間が長時間化している。
- ・特に、小学生と高校生の利用時間の伸びが著しい。

4 自画撮り被害の状況

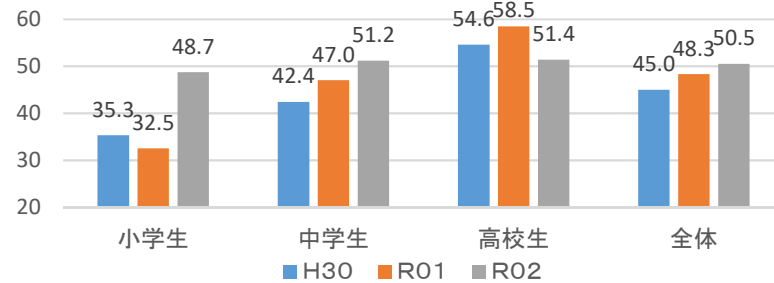
【裸や下着のやりとりの経験(子ども回答)】

	中学生	高校生	計
送ったことがある	3人	6人	9人
写真を要求されたことはあるが送っていない	9人	28人	37人

・「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、中学生3名、高校生6名が「ある」と回答している。(子ども回答)
 ・「写真を要求されたことはあるが送っていない」と回答したのは、中学生9名、高校生28名。(子ども回答)
 ・保護者の回答によると、自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことのある小学生がいる。

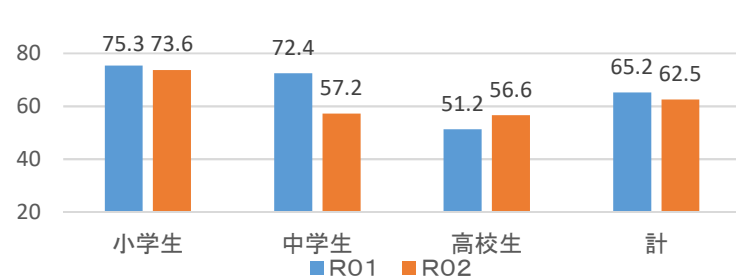
5 フィルタリングの利用状況及び家庭のルールの有無

【フィルタリングの利用率(保護者回答)】

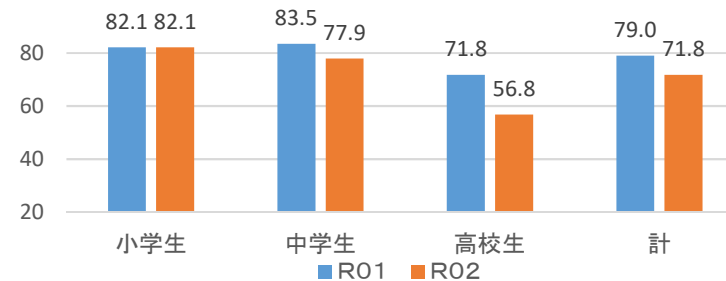


・フィルタリングの利用率は、全体的には年々増加している。
 ・家庭のルールの有無について、ルールのある家庭が減少している。
 ・ルールの有無について、子どもと保護者には認識の差があり、保護者の方がルールがあると回答した割合が高い。

【ルールがあると回答した割合(子ども回答)】



【ルールがあると回答した割合(保護者回答)】



6 調査結果を受けて

インターネット利用の低年齢化が顕著になるとともに、子どもたちのネット利用が長時間化しています。また、SNS等に起因する犯罪被害等のトラブルも発生しています。

保護者の方は、フィルタリングをはじめとしたペアレンタルコントロールを活用して、子どもたちが安全安心にネットが使える環境を整えましょう。

また、スマホの使い方について、子どもの発達段階に応じて家庭のルールをつくり、家族みんなで守りましょう。

県のHPIに、安全安心にスマホやネットを使うための情報を掲載していますので、一度ご確認ください。↑↑

